

YFNゲストスピーカー・メッセージ

「豆畑のために戦う」

CFNI聖書学院 学院長

アダム・マッケイン師

●子供の頃からの夢●

私は若い頃から教会で育ちました。時にはゲストの先生が来られて奇跡の話をたくさんしてくださいました。100人以上の死人をよみがえらせたとか、3日間死んでいたのによみがえったとかです。他にも、悪霊に縛られていた女性に手を置いて祈ると、その悪霊が無数の蟻のような形で女性の耳や鼻から出てきたとか。こういう話を子どもの頃に聞いて、私もそのような奇跡を体験したいと思いました。病人をいやしたり、死人をよみがえらせたりして用いられたい、そのような素晴らしい戦士になりたいと。そこで、私は聖書に出てくるダビデの勇士たちについて学び始めました。

●シャマの豆畑●

第二サムエル23章11-12節、「彼の次はハラル人アゲの子シャマ。ペリシテ人が隊をなして集まったとき、そこにはレンズ豆の密生した一つの畑があり、民はペリシテ人の前から逃げたが、彼はその畑の真中に踏みとどまって、これを救い、ペリシテ人を打ち殺した。こうして、主は大勝利をもたらされた。」このシャマは、ペリシテ人が隊をなして攻撃してきた時、そこにいた仲間は全員逃げたにもかかわらず、たった一人、豆畑を守るためにその中に留まりました。皆さん、100人の敵を一人ずつ相手にするなら勝つことも可能でしょう。しかし、その100人が同時に襲い掛かってきたら、どうでしょうか。隊をなした敵が一斉に攻撃を仕掛けてくる中、シャマは一人で畑の中にとどまったのです。それは10分や15分の戦いではなかったでしょう。もう一度、聖書をよく見てみましょう。「彼はその畑の真中に踏みとどまって、これを救った」、とあります。彼は、畑を守るために踏みとどまったのです。ではなぜ、豆畑など守ったのでしょうか。実は、当時のイスラエルの人々にとってこの豆畑は、貧しい人のためのものでした。シャマは貧しい

人のためにその畑を守ったのです。たかが豆のために、です。私は最初そのことが理解できませんでしたが、そのことを思い巡らしていた時、神様はある2つのことを示してくださいました。シャマが豆畑を守った理由は、

- 1、彼の畑だったから。
- 2、これ以上、戦いで逃げるのがいやだったから。

彼は価値も重要性もないに等しい豆のために死ぬ覚悟でした。その中で神様は奇蹟を起こされたのです。

●アダム・マッケインの豆畑●

神様は私たち一人一人に豆畑を与えておられます。私たちの畑の中には救われなければならない人がまだいるのです。私たちが手を差し伸べなければならない人です。私は若い頃クリスチャンになって、聖霊の力が増し加わってきた時、自分の町の若い人達に、地獄に行つてほしくないと思いました。私の町。私の若い人達。すなわち、私の畑にいる人々。他の人は私の町や、そこに住む若い人達のことは気にしません。文句は言っても気にかけてはいませんでした。誰も彼らのために戦う気がなかったのです。私は立ち上がり、手を差し伸べ、人々は少しずつ救われていきました。当時、私は16歳で、自宅で50人の家庭集会を導いていました。それは私がすごいからではなく、ただ彼らのために戦う心があったから、神様は奇蹟を起こしてくださいました。

●「バスケットチーム」という豆畑●

私の教会メンバーだったある十代の白人男子学生が、黒人が多く通う学校に入りました。ある日、彼は私のところに、バスケの選抜チームに入れるよう祈ってくださいと言って来ました。白人より黒人の方がバスケは上手いから、どうせ入れないだろうと内心思いつつ私は祈りました。と

ころが、私の予想に反して、彼は選抜チームに入りました。クリスマスが近づいていたある日、チーム全員が救われるというビジョンを持っていた彼は、チームの仲間に名前入りの聖書をプレゼントしようと思いつきました。1冊25ドル位する聖書を12人分買うために、彼は4週間かけて放課後にアルバイトをしました。そして、ある試合前のロッカールームで彼は、仲間が神様に近づけるように祈ってきたことを話し、一冊ずつ名前入りの聖書を渡しました。ユースグループにも誘い、バスケット・シーズンが終わる頃までにはチーム全員がクリスチャンになりました。なぜそうなったのでしょうか。そこが彼の畑で、彼はそのために踏みとどまって戦ったからです。彼はその後、メキシコの山奥に住む人々に福音を届ける宣教旅行の途中で、氾濫した川に流されて亡くなりました。

●「家族」という豆畑●

又、ある集会の晩、両親が離婚していて、父親とは数年来連絡が途絶えていたある若者がいました。彼は、父親に救われてほしいという、それまで感じたことのなかった熱い思いに動かされ、電話をしました。夜中の12時、きつと酔っ払って電話には出ないかもしれないと思っていたら、3回目のベルで出ました。彼は、「お父さん、僕だよ。お父さんにクリスチャンになってほしくて電話したんだ。」と話し始めました。馬鹿にされるだろうと思ったら、お父さんがこう言いました。「今オレに信じられないことが起こったんだ。ビール6本飲んで、気絶したように寝てたんだよ。すると部屋にさーっと光が入ってきて、見上げたら、人が立ってた。その人から光が出ていて、目は火のように燃えていたんだ。その足は青銅のように光り輝いていたよ。そして、その人が言ったんだ。『私はイエスである。あなたの息子が今、私を受け入れるようにあなたのために祈っている。あなたは私を主として受け入れなさい。』それで、その人はいなくなった。その直後、電話がなったんだよ。するとお前じゃないか…今、イエス様を受け入れるよ。一緒に祈ってくれ。」そうして、彼は父親と一緒に祈り、父親と教会に行くようになりました。なぜ、こんな奇蹟が起こったのでしょうか。それは、彼に、お父さんのために戦う心があったからです。自分の豆畑のために。

●「孤独な女の子」という豆畑●

夫が性的倒錯に陥っていた40歳くらいのある婦人が私の教会にいました。彼女は馬が大好きで、馬の世話をしていました。彼女はそこで出会った15歳の女の子と友達になりました。女の子の母親はシングルマザーで忙しく、娘と過ごす時間はほとんどありませんでした。女の子はいつも男性を追い掛け回していましたが、誰もその子のことを心から気にかけていませんでした。その子は私達とは別の教会に行っていました。個人的にイエス様のことを知りませんでした。その婦人は女の子を私達の教会へ誘いました。女

の子は、そこで自由に神様を礼拝している人々の姿に感動し、イエス様を受け入れました。その婦人は家庭がめちゃくちゃだったので、礼拝や日曜学校でも前に立って教えることは許されていませんでしたが、自分の畑にいたその女の子に一生懸命、弟子訓練を施しました。やがて女の子は聖霊に満たされるようになり、素晴らしいクリスチャンになりました。もし、その婦人がたった一人の女の子のために戦っていなければ、誰も彼女の素晴らしい説教を聞くことはできなかったでしょう。何千人という人が彼女を通して救われなかったでしょう。そして、彼女は私の横にはいなかったでしょう。その小さな女の子とは、私の妻のことです。

●自分の豆畑のために戦う●

神様は私たちに畑を与えておられ、私たちが影響を与えることのできる人たちがそこにいます。あなたも自分の畑の真ん中に踏み止まりませんか。そして、「神様、もし死ぬなら私は死にます。」「私はその友達から逃げることをやめます。」「私の家族が敵に滅ぼされるのを許しません。」と決心しませんか。クリスチャンでいるということは、ただ救われて天国に行くという以上のことです。皆さん、私があなたの家に行つてあなたのお父さんお母さんを救うことはできません。あなたの学校に行つてあなたの友達に話すことはできません。私の畑ではないからです。それはあなたの畑で、あなたが守らなければならないのです。敵があなたの畑を滅ぼしたら、それはあなたの責任です。他の人々は敵が来たら逃げて行くでしょう。その畑の事を気にかけていないからです。あなたは他の人たちと一緒に逃げてますか。それとも自分の畑に踏みとどまりますか。その畑はちっぽけかもしれませんが。誰も気にかけてないかもしれませんが。でも、その畑の真ん中に立って戦うなら、奇蹟は起こります。奇蹟は戦いの中に起こります。何かのために戦っていなければ、奇蹟は必要ないのです。あなたの家族や友達が救われるように祈っている人は、あなたの他にいないかもしれません。「死ぬのであれば、自分の町のために死にたい。自分の命をそのためにささげたい。」「家族が救われるのであれば…。学校の友達が救われるのであれば…。自分の人生を何かのために使うのであれば、地獄のすべての悪霊に対抗して、私は踏みとどまろう！」今日、その決心ができますか。今、紙とペンを用意して、「私の豆畑」と書き、その畑にいる人の名前を書き出してください。友達でも、家族でも、学校の名前でも結構です。あなたは、あなたの畑のために戦いますか。

●YFN集会メッセージと、マッケイン師の全講義(「再生産」というテーマを基に、教会、伝道、弟子訓練についての教え)は録音されています。購入ご希望の方は、学院事務局までお申込みください。

・YFN集会1、3(アダム・マッケイン師)

・YFN集会2(ジャレッド・ブライアント師)

・講義(全7枚、各60分)※CDのみの販売になります。(各500円)